

## 第2次加須市水道ビジョン策定に伴うアンケート結果

第2次加須市水道ビジョンの改定に伴い、審議会委員の皆様に水道に関するご意見等をお伺いし、水道事業の安定した経営環境を実現するための計画とするものです。

問1 加須市水道事業に期待するものは何ですか？（○は3つまで）

1	おいしい水を提供してほしい	11票（28.2%）
2	赤水や濁水などが出ないようにしてほしい	2票（5.1%）
3	蛇口から出る水の勢いをよくしてほしい	0票（0.0%）
4	漏水修繕を素早くしてほしい	1票（2.6%）
5	地震時でも水を使えるようにしてほしい	7票（17.9%）
6	水道料金を安くしてほしい	4票（10.3%）
7	将来にわたり安定した経営に努めてほしい	14票（35.9%）
8	その他（ ）	0票（0.0%）
合 計		39票（100.0%）

### 【アンケート結果及び考察】

加須市水道事業に期待するものとして、「7 将来にわたり安定した経営に努めてほしい」が14票（35.9%）で最も関心が高く、次いで「1 おいしい水を提供してほしい」が11票（28.2%）、「5 地震時でも水を使えるようにしてほしい」が7票（17.9%）であった。

安定経営やおいしい水の提供のほか、地震時の水の提供に関心が高いため、効率的な事業運営及び経営の基盤の強化や、施設の適切な管理運営の徹底、並びに水道施設の耐震化が求められている。

問2 加須市の水道水をどのように感じていますか？（○は1つだけ）

1	おいしい	8票（53.3%）
2	おいしくない（塩素臭・カルキ臭がする、かび臭いなど）	1票（6.7%）
3	特に思わない	6票（40.0%）
4	その他（ ）	0票（0.0%）
合 計		15票（100.0%）

### 【アンケート結果及び考察】

加須市の水道水をどのように感じているかについて、過半数の方が「1 おいしい」の8票（53.3%）で最も多く、「3 特に思わない」が合わせて6票（40.0%）であった。

本市の水道水に過半数の方が満足しているため、引き続き、県水7割、地下水3割の維持と水道施設管理運営の徹底が求められている。

問3 どのような水を飲んでますか？（○は1つだけ）

1 水道水をそのまま飲む（冷やして飲むなどを含む）	6票（40.0%）
2 水道水を一度沸かして飲む	3票（20.0%）
3 浄水器を通した水を飲む	4票（26.7%）
4 市販されているペットボトルの水を飲む	2票（13.3%）
5 スーパーマーケットなどにある持ち帰りの水を飲む	0票（0.0%）
6 ウォーターサーバーの水を飲む	0票（0.0%）
7 その他（ ）	0票（0.0%）
合 計	15票（100.0%）

【アンケート結果及び考察】

どのような水を飲んでいるのかについて、「1 水道水をそのまま飲む（冷やして飲むなどを含む）」の6票（40.0%）が最も多く、次いで、「3 浄水器を通した水を飲む」が4票（26.7%）、「2 水道水を一度沸かして飲む」が3票（20.0%）であった。ペットボトルやスーパー、ウォーターサーバーなどの水が普及しているが、こうした水を飲まれる方は2票（13.3%）であった。

安心して水道水が飲まれているため、安全・安心な水道水の提供できるよう水質管理の徹底が求められている。

問4 加須市の水道水は、地盤沈下の影響を少なくするため、市内の井戸から取水した水が3割、県営水道から購入した水が7割となっていることについて知っていますか？

1 知っている	9票（60.0%）
2 知らなかった	6票（40.0%）
合 計	15票（100.0%）

【アンケート結果及び考察】

本市の水道水（市内の井戸又は県水）の割合について、過半数の方が「1 知っている」の9票（60.0%）であった。

一方で、「2 知らなかった」6票（40.0%）であったことから、「加須市の水道」について、市広報紙やホームページ、SNS など様々な広報媒体を活用し、市民への周知徹底が必要である。

問5 水道事業は、水道料金を財源として独立採算で経営しており、税金が使われていないことを知っていますか。

1 知っている	9票 ( 60.0%)
2 知らなかった	6票 ( 40.0%)
合計	15票 (100.0%)

【アンケート結果及び考察】

本市の水道事業の経営方法について、過半数の方が「1 知っている」の9票（60.0%）であった。

一方で、「2 知らなかった」6票（40.0%）であったことから、「加須市の水道」について、市広報紙やホームページ、SNS など様々な広報媒体を活用し、市民への周知徹底が必要である。

問6 水道料金は電気やガスの料金と比較しどのように感じていますか？（○は1つだけ）

1 高いと思う	1票 ( 6.7%)
2 妥当だと思う	13票 ( 86.6%)
3 安いと思う	1票 ( 6.7%)
4 特に意識したことはない	0票 ( 0.0%)
合計	15票 (100.0%)

【アンケート結果及び考察】

水道料金について、「2 妥当だと思う」が13票（86.6%）で最も多かった。

電気やガス料金については、物価高騰等による影響もあるが、平成25年度に行った4地域の水道料金統一化について、一定のご理解をいただいているものとする。

問7 加須市では、昭和30年～昭和40年代に認可を受け、世帯や水需要に合わせ拡張してきたため、40年以上経過する老朽化施設が多数存在し、漏水事故等による断水の可能性が高まっていますが、このことについてどのように思いますか？（○は1つだけ）

1 不安である	6票 ( 40.0%)
2 どちらかといえば不安である	8票 ( 53.3%)
3 特に何も感じない	1票 ( 6.7%)
4 どちらかといえば安心である	0票 ( 0.0%)
5 安心している	0票 ( 0.0%)
合計	15票 (100.0%)

【アンケート結果及び考察】

漏水事故等による断水について、「1 不安である」6票（40.0%）、「2 どちらかといえば不安である」8票（53.3%）と、90%の方が不安と回答している。

水道施設の老朽化及び漏水事故等に不安を感じている方が多く、計画的な施設の更新が求められている。

問8 水道事業の課題は何だと思いますか（〇は3つまで）

1 水道施設の老朽化	13票（34.2%）
2 人口減少による水需要の減少	5票（13.2%）
3 地震災害などへの対応	8票（21.1%）
4 有収率の向上	6票（15.7%）
5 水道管内の汚れによる赤水や濁水の発生	5票（13.2%）
6 その他（安全性の高い水道水をPRして水道水の使用を増やしてほしい）	1票（2.6%）
合計	38票（100.0%）

【アンケート結果及び考察】

水道事業の課題として、「1 水道施設の老朽化」が13票（34.2%）と最も多く、問7と同様に関心が高かった。次いで、「3 地震災害などへの対応」が8票（21.1%）、「4 有収率の向上」が6票（15.8%）であり、これら3項目の合計は27票（71.1%）であった。

水道施設の老朽化や強靱化による安定供給への関心が高かったことから、計画的な施設の更新及び見直し等が必要である。

問9 どのような事業を優先的に実施すべきと考えますか？（〇は3つまで）

1 浄水場施設の更新及び耐震化	7票（15.9%）
2 水需要(人口減)に応じた浄水場能力の適正化(浄水場の統廃合)	3票（6.8%）
3 浄水場の一元（集中）管理	2票（4.5%）
4 老朽化した水道管の更新	12票（27.3%）
5 基幹管路の耐震化	2票（4.5%）
6 石綿セメント管の廃止	4票（9.1%）
7 水圧不足の解消（旧簡易水道、片送り管など）	3票（6.8%）
8 有収率の向上（漏水調査）	4票（9.1%）
9 水道管内の汚れによる赤水や濁水の解消（洗管作業）	3票（6.8%）
10 水道料金の見直し（運営基盤の強化）	0票（0.0%）
11 デジタル技術を活用した新たな経営手法等の導入	1票（2.3%）
12 水質管理の徹底	3票（6.8%）
13 経営効率化のための近隣市との統廃合	0票（0.0%）
14 その他（ ）	0票（0.0%）
合計	44票（100.0%）

※小数点以下の四捨五入の関係で100.0%になっておりません。

【アンケート結果及び考察】

水道事業の優先順位について、「4 老朽化した水道管の更新」が12票（27.3%）と最も多く、次いで「1 浄水場施設の更新及び耐震化」が7票（15.9%）であり、水道施設の更新及び耐震化について合わせて19票（43.2%）であった。

今後、水道事業を進めていくにあたり、水道施設の更新及び耐震化について優先的に取り組む必要がある。